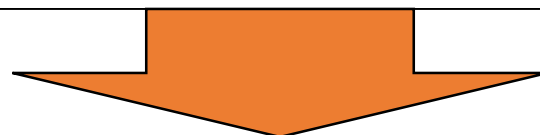


きっかけ

- ・ 鞆から物を取り出す際、傘の置き場がなく、絶えず持っておく、もしくは腕にかけるしかなく、どうしても邪魔になってしまう。
- ・ 室内に入る時、施設に傘立てが用意されておらず、机にかけるなどの不安定な置き方をするようになってしまう。
- ・ 自分のお気に入りの傘を使いたい。



色々な傘を傘立てが用意されていない場合にも立てることができ、スペースを取らず、持ち運べる傘立てを作ればよいのでは？

解決策

(1) 色々な傘を立てられる

⇒ 傘の先端につけるような形にする。

(2) スペースを取らない

⇒ 傘立ての安定性を保つ部分を傘立て本体に巻きつく形し、余分な面積を省く。

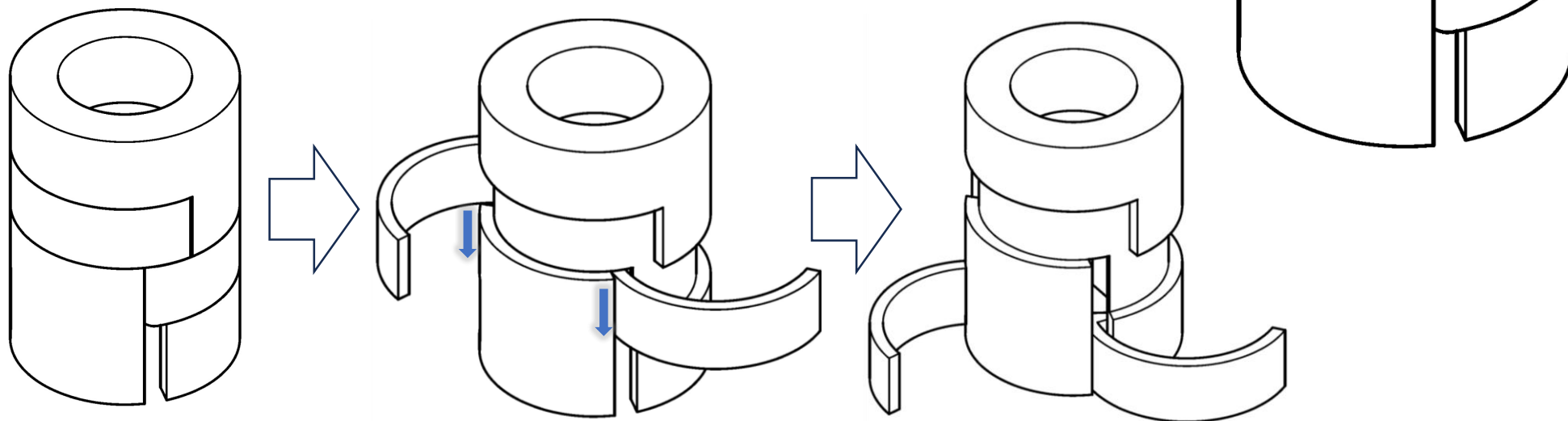
(3) 持ち運ぶことができる

⇒ 鞆の中に入るくらいのサイズにする。

作品名：小型傘立て

傘を地面に立てたいときに、傘の先端につけ、3か所ある展開パーツを広げてそれぞれ下げることで使用できる。

展開パーツを広げる形にすることによって本体をよりコンパクトにし、鞆などに手軽に入れて持ち運ぶことができるようになる。



作品名:小型傘立て